

授業科目

視覚生理学実習

担当教員名 前田 史篤、河内 了輔、村田 憲章 他	対象学年	2	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	○	◎	◎

授業の概要

視覚の成り立ちを視力、屈折、電気生理、色覚、光覚等の検査を通して理解し、視機能評価の方法と理論を修得する。

授業の目的

視覚生理学で得られた概念や知識を掘り下げ、ヒトの生体現象の営みを実験実習という形で観察し、そこから視覚的に得られた情報により、講義内容をより深く理解する事を目的とする。

学習目標

1. 実験－観察－記録－分析ができる
2. 得られたデータから考案ができる
3. 文献を参照しながら、レポートにまとめることができる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1-2	ガイダンス レポートのまとめ方		前田 史篤 他
3-4	ランドルト環の自作 最大視力の測定	1st Round	河内 了輔
5-6	偏心視力の測定	1st Round	前田 史篤 他
7-8	ERGの測定	1st Round	前田 史篤 他
9-10	眼球模型の作成		村田 憲章 他
11-12	VEPの測定	2nd Round	前田 史篤 他
13-14	恒常法による視力の測定	2nd Round	前田 史篤
15-16	眼軸長と屈折の相関	2nd Round	村田 憲章
17-18	豚眼の解剖と観察		前田 史篤、河内 了輔
19-20	グレア視力、コントラスト感度の測定	3rd Round	前田 史篤 他
21-22	さしこし現象	3rd Round	河内 了輔
23-24	角膜知覚	3rd Round	村田 憲章
25-26	脳模型の作成		河内 了輔 他
27-28	データレビュー		前田 史篤、河内 了輔、村田 憲章 他
29-30	グループ発表		前田 史篤、河内 了輔、村田 憲章 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	視能学 第2版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子 (編)	文光堂	2011年	18,000円+税	
参考書	眼科プラクティス6. 眼科臨床に必要な解剖生理	大鹿哲郎 (編)	文光堂	2005年	18,000円+税	
その他の資料						

評価方法

提出物 70%
グループ発表 30%

履修上の留意点

レポートの再提出は希望により受け付ける。
締め切りを過ぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

毎週水曜日の昼休み
P310
fumiatsu-maeda@nuhw.ac.jp